

(案)

栃木県キャリア形成卒前支援プラン

令和4（2022）年12月策定

とちぎ地域医療支援センター
(栃木県保健福祉部医療政策課地域医療担当)

1 プランの趣旨

- ・ 栃木県キャリア形成卒前支援プラン（以下「本プラン」という。）は、自治医科大学及び獨協医科大学で実施している医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療に貢献する意思を有する学生（以下「地域枠学生」という。）に対し、学生の期間を通じて地域医療に対する意識の涵養を図り、地域医療に従事することへのキャリアイメージを描けるように支援することを目的として策定するものです。

2 基本的事項

(1) 適用対象者

- ・ 本プランは、次に掲げる地域枠学生に対して適用します。
 - ① 自治医科大学医学部に栃木県枠として入学した者
 - ② 獨協医科大学医学部に栃木県地域枠として入学した者
 - ③ 上記のほか、栃木県医師修学資金の貸与を受けている者

(2) 対象期間

- ・ 本プランの対象期間は、入学時から卒業時までとします。

(3) プランの内容

- ・ 本プランでは、大学、医療機関及び関係団体と連携し、地域枠学生の地域医療に対する意識の涵養を図るためのプロジェクト（以下「卒前支援プロジェクト」という。）を設定します。

3 プランの評価・改善

(1) 取組の評価

- ・ 本プラン及び卒前支援プロジェクトの効果を評価するため、地域枠学生及び県採用医師を対象としたアンケート調査を定期的実施し、地域医療に貢献しようとする意欲及び本県の地域医療に関する理解度等について、把握することとします。
- ・ 卒前支援プロジェクトの実施状況について、毎年度、地域医療対策協議会に報告した上、意見を聴くこととします。

(2) プラン等の改善

- ・ 県は、地域枠学生等を対象としたアンケート結果及び地域医療対策協議会における意見を踏まえ、本プラン及び卒前支援プロジェクトの内容を改善するよう努めます。
- ・ 県は、卒前支援プロジェクトを追加、廃止又は変更しようとするときは、その内容について地域枠学生の意見を聴くものとします。

4 本プランの特徴

(1) 取組の方向性

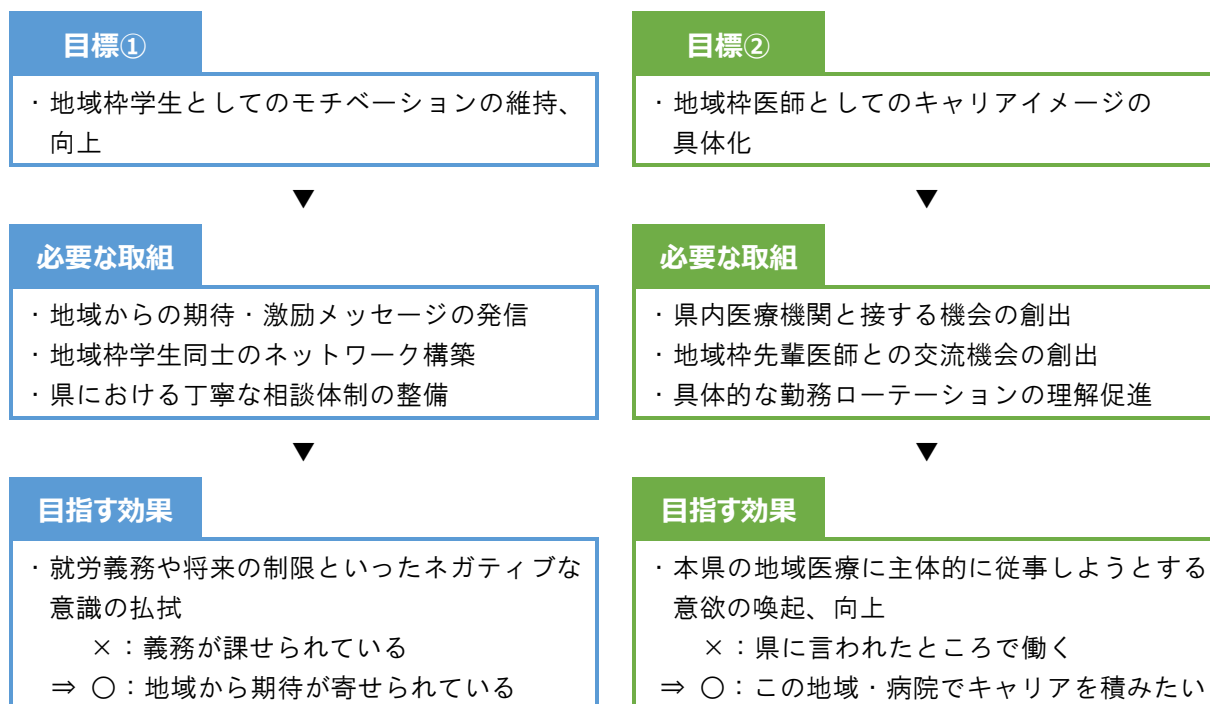
- ・本プランの策定に先立ち、令和4年6月に実施した地域枠学生・医師向けのアンケート結果も踏まえ、本プランにおける取組の方向性について、以下のとおり定めます。

《アンケート結果 ⇒ 取組の方向性》

- ① 学生では、地域枠で入学して良かったと思うと回答した者は、学生では87%と高いが、医師では54%と低い
⇒地域枠学生としての**モチベーションの維持・向上**
- ② 将来のキャリアをイメージできていないと回答した学生は、59%と半数を超えている。
⇒地域枠医師の**キャリアイメージの具体化**
- ③ 将来勤務する可能性がある医療機関の認知度について、医療機関ごとに差が見られる。
⇒**県内の公的医療機関等の特徴及び役割の理解促進**
- ④ キャリアを相談したい相手（県・卒医）と、実際の相談相手（同級生等）にギャップが生じている。
⇒地域枠学生からの**相談体制の整備、交流機会の創出**

(2) 目指すべき効果等

- ・(1)で定める取組の方向性に基づき、以下のとおり、本プランで目指す効果を設定し、具体的な取組内容を検討します。



5 具体的な取組（卒前支援プロジェクト）

- ・ 4-(1)で定める方向性に基づき、各学年における学習段階も踏まえながら、卒前支援プロジェクトを実施します。具体的な卒前支援プロジェクトの体系及び内容は、別表のとおりです。
- ・ 卒前支援プロジェクトの実施に当たっては、地域卒学生からの意見聴取並びに大学、医療機関及び関係団体との調整を行った上で、毎年度、翌年度の実施計画を作成します。

6 大学の教育カリキュラムの位置付け

- ・ 「キャリア形成プログラム運用指針」（厚生労働省医政局長通知）における規定も踏まえ、下記の教育カリキュラムについて、卒前支援プロジェクトの一環として位置付けることとします。

《キャリア形成プログラム運用指針》

第2-2-(4)-ア 第2段落

- ・ 卒前支援プロジェクトは、原則として、医学部の教育カリキュラムとは別に策定するものであるが、既存の教育カリキュラム内において、地域医療に関する教育を行っている場合には、これを活用して卒前支援プロジェクトの枠組みに位置付けることや、連動した取組を実施することが望まれる。

(1) 自治医科大学

地域医療学	地域医療学総論（1学年）、地域医療学各論1（2学年）、地域福祉実習（2学年）、地域医療学各論2（3学年）、地域医療学各論3・新（4学年）、地域医療学各論3・旧（5学年）、地域医療学各論4（6学年）
社会医学	公衆衛生学（5学年）
臨床実習	早期体験実習（1学年）、地域医療Ⅰ実習（4学年）、地域医療Ⅱ実習（5学年）、地域保健実習（5学年）、都道府県拠点病院実習（6学年）

(2) 獨協医科大学

地域医療学（1学年）、
コミュニティヘルスインターンシップ（地域医療早期体験実習）（1学年）、
地域包括医療実習Ⅰ（1学年）、地域包括医療実習Ⅱ（2学年）、
地域包括医療実習Ⅲ（3学年）、地域包括医療実習Ⅳ（4学年）

栃木県卒前支援プロジェクトの体系

1 学年

2 学年

3 学年

4 学年

5 学年

6 学年

段階

- 医師としての基礎知識・心構えを身に付ける時期

- 臨床医学を学び始め、医療に関する知識・技術を身に付ける時期

- 臨床実習が始まり、医師として必要な態度・診療技能を身に付ける時期

目標

- 地域医療に貢献しようとするモチベーションを維持する。
- 本県の地域医療に関する基本的な事項について理解する。

- 地域で活躍している医師と接することで、地域医療へのモチベーション向上を図る。
- 県内公的医療機関等の役割や特徴について理解する。

- 将来、地域卒医師として勤務することについて、自覚と誇りを持つ。
- 地域卒医師のキャリアイメージを深め、自らの具体的なキャリアについて検討する。

取組

《モチベーションの維持・向上》

① 地域卒学生との個人面談

② 知事との懇談

③ 自治体等との意見交換

⑤ 地域医療従事者との意見交換

⑥ 卒業激励会

④ 学生交流会の実施

《キャリアイメージの具体化》

⑦ 地域医療ワークショップの開催

⑧ 県内公的医療機関等の見学

⑨ 先輩医師によるキャリア説明・相談会

各卒前支援プロジェクトの内容

1.モチベーションの維持・向上

プロジェクト	概要	対象学年	実施回数
① 県担当者との個人面談	• 学業成績、学生生活の近況、将来希望する診療科やキャリアを確認するとともに、地域卒学生等からの相談に応じるため、県による個人面談を実施する。	2～6 学年	定例年 1 回のほか、希望に応じて随時
② 知事との懇談会	• 地域卒入学者が知事を表敬訪問し、将来目指す医師像や地域医療への思いを発表し、知事から激励を受ける。	1 学年	年 1 回
③ 自治体等との意見交換会	• 住民に密着した地域医療のあり方などについて理解を深めるため、へき地診療所の見学及びへき地診療所設置自治体や医師会等の関係団体との意見交換を実施する。	2 学年	年 2 回程度
④ 学生交流会	• 地域卒学生同士の親睦を深めるため、学生交流会を開催する。 ※⑦地域医療ワークショップと一体的に実施	1～2 学年	年 1 回
⑤ 地域医療従事者との意見交換会	• 地域医療のやりがい及び地域で求められる役割などについて理解を深めるため、地域で活躍する医師（病院長や先輩医師）との意見交換を実施する。 ※⑧県内公的医療機関等の見学と一体的に実施	3～4 学年	年 2 回程度
⑥ 卒業激励会	医師としての第一歩を踏み出すに当たり、将来の抱負やキャリアイメージを 先輩医師などから激励を受ける。	6 学年	年 1 回

各卒前支援プロジェクトの内容

2. キャリアイメージの具体化

プロジェクト	概要	対象学年	実施回数
⑦ 地域医療ワークショップの開催	<ul style="list-style-type: none">地域医療に関する理解促進を図るとともに、学校・学年の垣根を越えた参加者同士のネットワークを構築するため、地域医療に関するテーマを設定したワークショップを開催する。※④学生交流会と一体的に実施	1～2 学年	年 1 回
⑧ 県内公的医療機関等の見学	<ul style="list-style-type: none">県内公的医療機関等の役割や特徴について理解促進を図り、将来県内の医師として勤務するイメージを形成するため、県内の公的医療機関等を見学する。※⑤地域医療従事者との意見交換会と一体的に実施※ 1 人当たり、2 年間で 8 病院程度を見学することを想定（4 年間で、県内の公的医療機関等を一巡）	3～4 学年	年 2 回
⑨ 先輩医師によるキャリア説明・相談会	<ul style="list-style-type: none">地域枠医師のキャリアロードマップの理解促進を図り、地域枠医師としてのキャリアイメージを形成するため、先輩の地域枠医師によるキャリア説明・相談会を開催する。	5～6 学年	年 1 回程度